

姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話会での検討経緯

1 構成員

	氏 名	役 職
座長	新 川 達 郎	同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授
座長代理	藤 本 真 里	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授
構成員	長 田 秀 人	姫路市連合自治会 副会長
構成員	岩 田 稔 恵	姫路市連合婦人会 会長
構成員	長谷川 文 夫	姫路市老人クラブ連合会 副会長
構成員	森 下 龍 峰	姫路市子ども会連合会 会長
構成員	前 川 裕 司	認定特定非営利活動法人コムサロン二十一 理事長
構成員	大 森 正 雄	姫路城下町お散歩会 代表
構成員	大 西 弘	公募
構成員	依 田 法 子	公募

2 懇話会の開催

【第1回】

令和2年 7月27日（月） 15：00～ 姫路市役所北別館 401会議室

【議題】

姫路市の市民活動及び協働推進施策の状況について

姫路市市民活動・協働推進事業計画について

【主な論点、意見】

- ・職員アンケート結果を踏まえ、職員意識の向上策の取り組みが必要
- ・社会情勢の変化による地域活動に対する意識の変化への対応
- ・地域の風土、多様性等に合わせた事業をどのように取り入れるか
- ・7つの指針があるが、一つにまとめるようなキャッチコピー、目標等が必要
- ・行事の参加者数が多ければ、評価が高いという評価方法は正しいのか
- ・地域活動への支援内容について

【第2回】

令和2年 9月 8日（火） 10：00～ 姫路市役所 第4会議室

【議題】

姫路市市民活動・協働推進事業計画の素案について

【主な論点、意見】

- ・「新しい時代」への明確な考え方を持つべきでは。市民側の立場で考えるべきでは
- ・地縁系の団体とNPO法人やボランティア団体では特色が違うが、どう融合させていくか
- ・課題解決に向け、様々な団体が連携していけるような状況を生み出すには、コーディネーターを設置する等、より具体化してはどうか
- ・愛市精神（郷土愛）を高めるような事業を追加してはどうか
- ・市と市民が考えているボランティアに隔たりがあるのではないか
- ・姫路市の地域力は非常に高い。これらを活かした活動ができるよう考えてもらいたい

【第3回】

令和2年11月17日（火） 10：00～ 姫路市役所北別館 402会議室

【議題】

姫路市市民活動・協働推進事業計画のパブリック・コメント案について

【主な論点、意見】

- ・「地域活動団体の現状」に子ども会の状況も載せてもらいたい
- ・今回の計画では、第3次計画の令和元年度までの評価が掲載されているが、令和2年度の評価も第4次計画に活かしてもらいたい
- ・若者や行政職員のボランティア活動を推進できるような取り組みを組み込んでどうか
- ・地域や学校等への情報発信を集約して、一元的に行うことができる仕組みが必要
- ・提案型協働事業については、委託にすることや市の協働課による継続事業とするといった発展、展開が必要
- ・同じ制度が複数の基本指針に掲載されており、もう少しわかりやすく整理することが必要

【第4回】

令和3年 2月15日（月） 10：00～ 姫路市役所 第4会議室

【議題】

姫路市市民活動・協働推進事業計画（案）にかかるパブリック・コメントの募集結果及び今後の流れについて

【主な論点、意見】

- ・パブリック・コメント制度の意見提出件数の増加策について
- ・市域の広い姫路市にとって、公民館の役割は重要。ICT環境整備等を進めてもらいたい
- ・当初の計画に固執することなく、状況の変化に応じて柔軟な対応をしてもらいたい
- ・計画が多くの子市民の目に触れるよう各世代に応じた手段で周知してほしい
- ・各種団体等との繋ぎ役として、この計画における市民活動推進課の役割は大きい